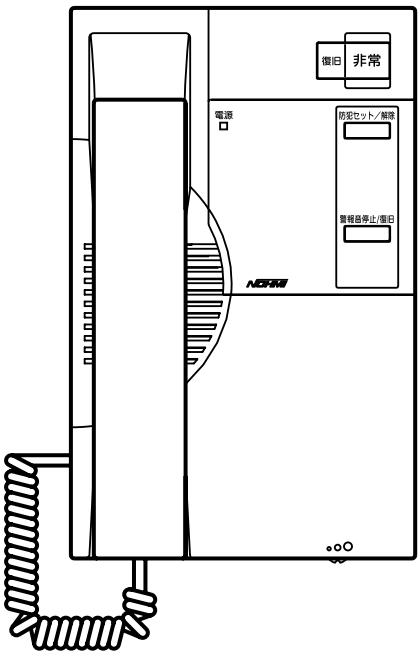
TN50589③

NOHMI

お客様用 取扱説明書

集合住宅システム 住宅情報盤 HAPG 355A

工事店様用 工事説明書



警告

製品を安全かつ正しくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書および、本製品に添付されたタグカードを必ずお読みください。お読みになった後は、いつでも製品の不明点を解決できるように、大切に保管してください。

目次（取扱説明書）

安全上のご注意……2
設備された機器の構成と通話方法……3
各部の名称とはたらき…… 4～5
警報時の住宅情報盤とドアホンの動作……6
ご使用方法（セキュリティー情報）
　火災警報時の対応
　　■火災感知器が断線した場合……6
　　■火災発生時（火災警報）……7
　　■非火災報の場合……7
　ガスもれ警報時の対応
　　■ガスもれ発生時……8
　　■ガス漏れ検知器が故障した場合……8
　非常時の対応
　　■緊急事態を外部に知らせる時（非常通報）…9
　防犯警報時の対応
　　■防犯のセットと解除……9～10
　　■防犯警報時……10
　換気警報時の対応
　　■室内の換気をうながす換気警報……11
日常点検のお願い……11
アフターサービスについて……20

目次（工事説明書）

お取り付けの前に
　■安全上のご注意……12～13
　■梱包箱内の付属部品など……13
　■工事するにあたって準備する工具など……13
住宅情報盤の取り付け方法……14～16
住宅情報盤の接続方法……17
機能の設定方法……18
設置後の確認方法……19
仕様……20

安全上のご注意

■安全にお使いいただくために

ここに示した注意事項は、製品を正しく安全にお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。記載内容を充分に理解し、必ず指示された内容に従ってください。

●危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取扱いをした時に想定される内容を、「危険」「警告」「注意」の3つに区分しています。

「危険」：取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うかまたは機器の機能に致命的な悪影響を及ぼすことが想定される内容。

「警告」：取扱いを誤った場合、使用者が重傷や傷害を負うかまたは機器の機能の一部に重大な悪影響を及ぼす可能性が想定される内容。

「注意」：取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うかまたは機器の機能に悪影響を及ぼす可能性が想定される内容。

絵表示の見方

左の記号は、危険・警告・注意を促す内容があることを告げるものです。

左の記号は、禁止の行為を告げるものです。

左の記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。

危険

ガス漏れ検知器が発報した場合は、火を消してガスの元栓を締め、ガス会社に連絡してください。また、火気や静電気を発生するものを近づけたり、換気扇など電気機器のスイッチをON・OFFすると爆発の危険があります。自然換気を行ってください。

警告

機器内部には電圧がかかっている部分がありますので、本体をあけないでください。
感電の原因となります。

機器を分解・改造しないでください。感電・故障・発火の原因となります。

機器に液体（水、洗剤、飲み物など）を入れたり、ぬらさないようにしてください。感電・故障・発火の原因となります。

ガス漏れ検知器は有効期限があります。期限が来たらお取り替えください。ガスもれの発見ができなくなります。

注意

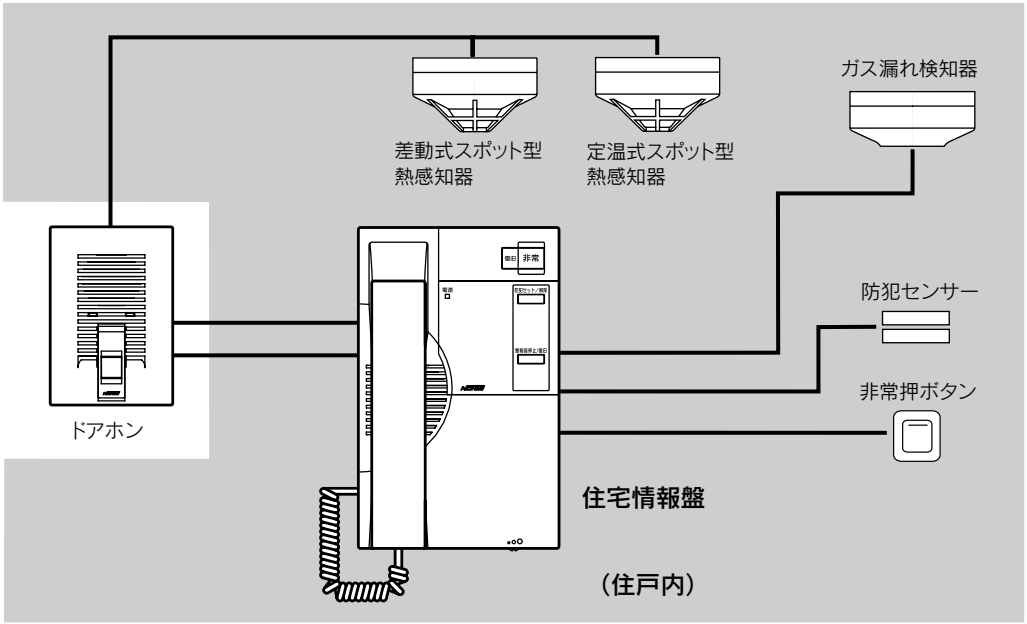
機器の操作は必ず手で行ってください。手以外のものでは確実な操作ができず、また機器を破損することがあります。

火災感知器の下で多量の煙、蒸気または高熱を発するものを使用しないでください。
非火災報（火災でない場合でも、煙濃度や温度が火災感知器の感知レベルに達した場合に作動すること）の原因となります。

停電して住宅情報盤の電源灯（緑）が消灯している場合は、本機は使用できません。

設備された機器の構成と通話方法

設置された住宅情報盤は、通話機能として、住戸の玄関子機（ドアホン）と通話ができます。また、セキュリティー機能として、■火災警報 ■ガスもれ警報 ■非常通報 ■防犯警報の各警報を、内蔵のスピーカーで外部に通報できます。
これらの機能は、設備されるシステムにより使用できないものもあります。使用できる機能については、下図のシステム例および住宅情報盤に添付されている「タグカード」を参考に、設備されている機器をご確認ください。



※この取扱説明書は、上図のシステム例の「住宅情報盤」に関するものです。
その他の関連機器のご使用方法は、各機器に添付された取扱説明書をご確認ください。
※設備はお住まいのマンションにより異なります。

ドアホンより呼出しを受けた時

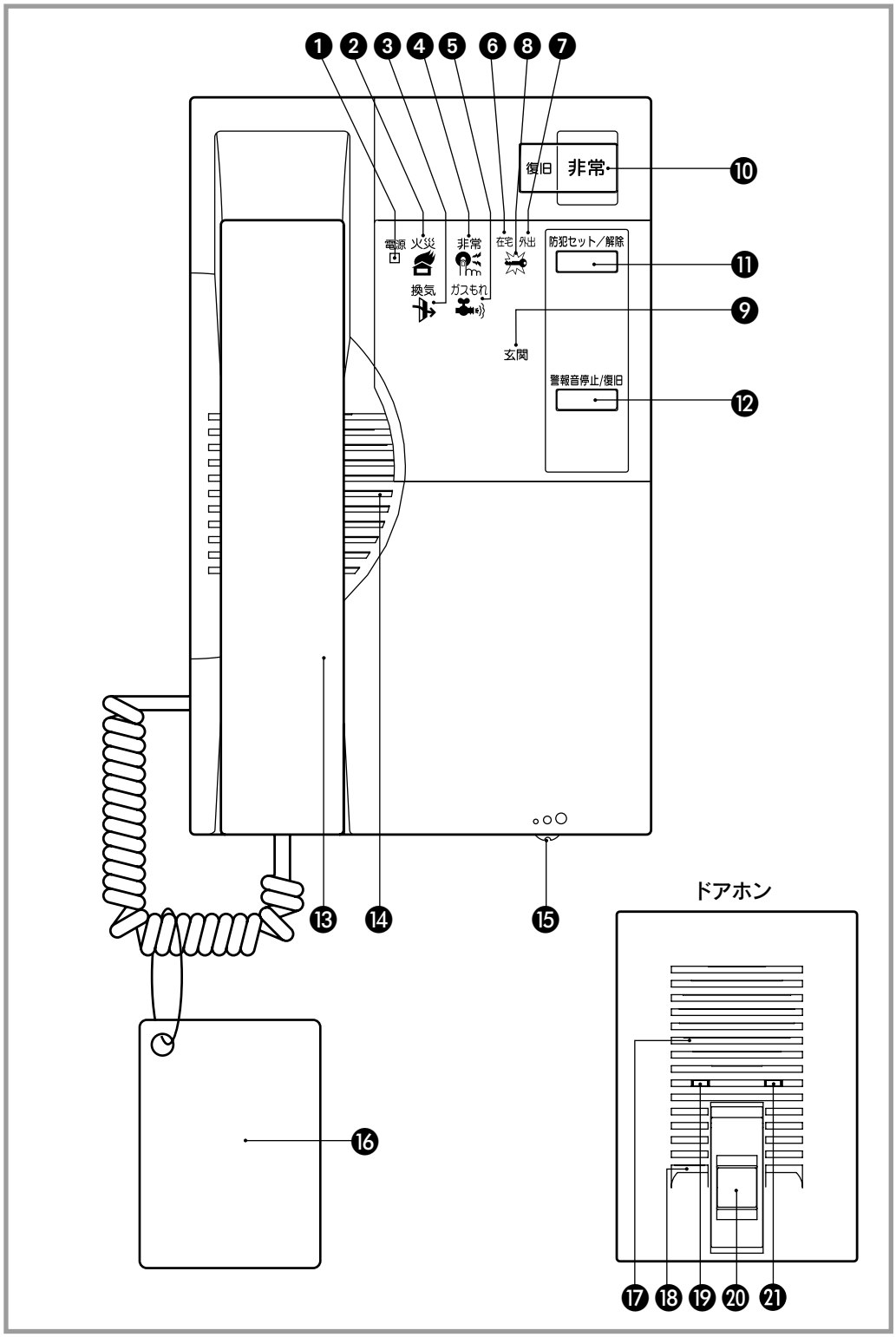
1 ◆チャイム音（ピンポーンピンポーン）が鳴ります。
◆**玄関**灯が点滅します。

2 ●受話器を取り上げて通話します。
◆**玄関**灯は点灯に変わります。

3 ●通話が終わったら受話器を戻します。
◆**玄関**灯は消灯します。

各部の名称とはたらき

設置された住宅情報盤は、接続機器により機能および使用方法が異なります。
この取扱説明書で説明される機能の中で、使用できないものもありますので、機能表示をご確認のうえ、ご使用ください。



各部の名称とはたらき

住宅情報盤の警報表示部の各種表示灯(❷～❾)は、システムが作動して警報・案内の機能がはたらいた場合のみ表示します。

住宅情報盤

❶ **電源灯**・・・・・・・・・・・・・・・・ 電源が入っている時、緑色に点灯しています。
❷ **火災灯**・・・・・・・・・・・・・・・・ 火災感知器が作動した時、赤色で点滅します。
❸ **換気灯**・・・・・・・・・・・・・・・・ ガス漏れ検知器が一酸化炭素を検知した時、赤色で点滅します。
❹ **非常灯**・・・・・・・・・・・・・・・・ 非常押ボタンを押した時、赤色で点滅します。
❺ **ガスもれ灯**・・・・・・・・・・・・・ ガス漏れ検知器が作動した時、黄色で点滅します。
❻ **在宅灯**・・・・・・・・・・・・・・・・ 防犯の在宅モードをセットした時、橙色で点灯します。
❼ **外出灯**・・・・・・・・・・・・・・・・ 防犯の外出モードをセットした時、緑色で点滅(セット中)、点灯(警戒中)します。
❽ **防犯灯**・・・・・・・・・・・・・・・・ 防犯センサーが作動した時、赤色で点滅します。
❾ **玄関灯**・・・・・・・・・・・・・・・・ お住まいの玄関のドアホンから呼ばれた時、赤色で点滅し、通話中は点灯します。
❿ **非常押ボタン**・・・・・・・・・・・・ 緊急事態を本機およびドアホンのスピーカーから警報する時に押します。
⓫ **防犯セット／解除ボタン**・ 防犯センサーをセットおよび解除する時に押します。
⓬ **警報音停止／復旧ボタン**・ 警報音を停止する時に押します。
⓭ **受話器**・・・・・・・・・・・・・・・・ 通話する時、使用します。
⓮ **スピーカー**・・・・・・・・・・・・・ 呼出音、警報音が鳴ります。
⓯ **音量調整スイッチ**・・・・・・・ 呼出音の音量を調整します。
⓰ **タグカード**・・・・・・・・・・・・・ 取扱方法概略が記載されています。

ドアホン

⓱ **スピーカー**・・・・・・・・・・・・・ 室内との通話および、警報音が鳴ります。
⓲ **マイク**・・・・・・・・・・・・・・・・ 室内との通話に使用します。
⓳ **通電表示灯**・・・・・・・・・・・・・ 通電中は緑色に点灯しています。
⓴ **呼出ボタン**・・・・・・・・・・・・・ 室内を呼出す時に押します。
㉑ **警報表示灯**・・・・・・・・・・・・・ 警報時に赤色で点滅します。

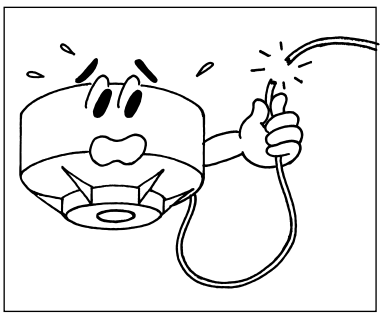
警報時の住宅情報盤とドアホンの動作

住宅情報盤には、火災、ガスもれ、防犯（戸締まり）の異常などを感知して、お住まいの内外へ警報するセキュリティー機能が備わっています。
異常時は表示灯が点滅し、警報音および音声警報が鳴って知らせますので、落ち着いて行動し、適切な対応をしてください。

警報＼動作	住宅情報盤			ドアホン	
	警報表示	表示灯	●警報音 ◇音声警報メッセージ	●警報音 ◇音声警報メッセージ	警報灯
火災	火災	赤（点滅）	●ファンフォンファンフォン ファンフォン ◇火事です。火事です。火災が発生しました。安全を確認のうえ、避難してください。 ●ビュービュービュー	●ファンフォンファンフォン ファンフォン ◇火事です。火事です。火災が発生しました。安全を確認のうえ、避難してください。 ●ビュービュービュー	赤（点滅）
ガスもれ	ガスもれ	黄（点滅）	●ピッピッピッピッピッピッ ◇ガスもれです。	●ピッピッピッピッピッピッ ◇ガスもれです。	
非常通報	非常	赤（点滅）	●ピーポーピーポーピーポー ◇緊急事態発生。	●ピーポーピーポーピーポー ◇緊急事態発生。	
防犯		赤（点滅）	●ピーポーピーポーピーポー ◇防犯装置が作動しました。	●ピーポーピーポーピーポー ◇防犯装置が作動しました。(30秒後に警報)	
換気	換気	赤（点滅）	●ピーピーピー ◇換気してください。		※
火災感知器線断線	火災	赤（点灯）	●ピー ◇配線を確認してください。		赤（点滅）
ガス漏れ検知器故障	ガスもれ	黄（点灯）	●ピー ◇配線を確認してください。		

※設備の仕様により点滅しないもの、遅延後に点滅するものがありますので、ご注意ください。

■火災感知器線が断線した場合



火災感知器の配線が断線すると、**火災**灯が点灯し、**[ピー。配線を確認してください。]**と、警報します。

◆ドアホンでは、警報表示灯が点滅します。（警報音は鳴りません）

対応 **警報音を止めるには、警報音停止／復旧ボタンを押してください。**
管理会社などへ連絡して点検を依頼してください。

火災警報時の対応

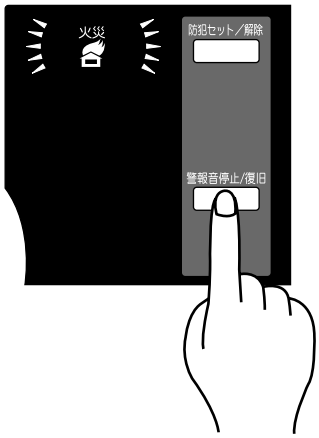
■火災発生時（火災警報）

火災感知器が作動すると、**火災**灯が点滅し、[**ファンフォンファンフォンファンフォン**]の警報音に続き、[**火事です。火事です。火災が発生しました。安全を確認のうえ、避難してください。**]と、警報します。

◆**ドアホンでは**警報表示灯が点滅し、住宅情報盤と同じ警報・音声警報が鳴ります。

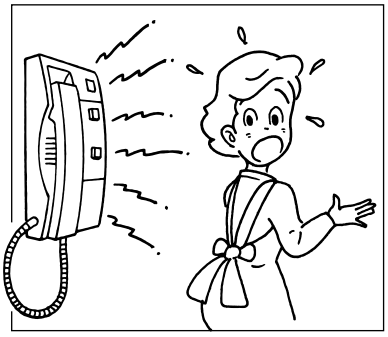
対応 **火災の状況により、初期消火、通報、避難など適切な対応をしてください。**

注意 **火災を確認する前に、警報音停止／復旧ボタンを押さないでください。外部へ通報されない場合があります。**



対応 **警報音を止めるには、警報音停止／復旧ボタンを押してください。**

■非火災報の場合



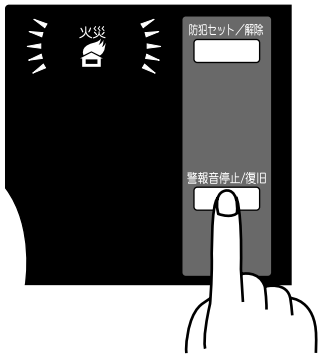
火災ではなく、過度な煙や温度などにより火災感知器が作動した場合。

対応 **火災が発生していない事を確認し、警報音停止／復旧ボタンを押してください。**

◆警報音は停止し、警報表示灯は約2分後に消灯します。

対応 **非火災報の原因となった煙や熱を排除してください。**

注意 **非火災報の原因を排除しても、火災灯が点滅している場合は、住戸内を確認し、管理社などへ連絡して点検を依頼してください。**



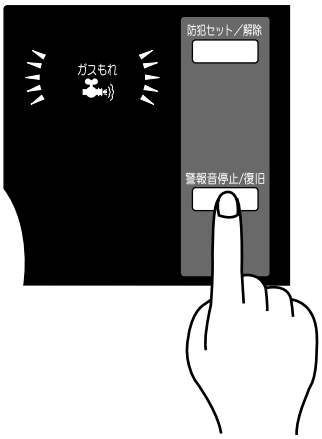
ガスもれ警報時の対応

■ガスもれ発生時

ガス漏れ検知器が作動してから約40秒間経過すると、**ガスもれ**灯が点滅し、[**ピッピッピッピッピッ**]の警報音に続き、[**ガスもれです**]と、音声警報を繰り返します。

◆**ドアホンでは、**警報表示灯が点滅し、住宅情報盤と同じ警報・音声警報が鳴ります。

対応 **ガスもれ場所を確認し、ガスの元栓を閉め、ドアや窓を開けて換気してください。**(換気されて、漏れたガスがなくなると**ガスもれ**灯は消灯し、警報音も止まります。)

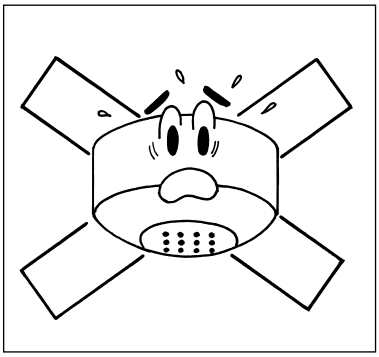


危険 **ガスが充満している状態では、危険ですから照明や換気扇など、電気のスイッチは使わないでください。ガスに引火して爆発する危険があります。**

対応 **警報音を止めるには、警報音停止／復旧ボタンを押してください。**

■ガス漏れ検知器が故障した場合

ガス漏れ検知器が故障したり、配線が断線すると、**ガスもれ**灯が点灯し、[**ピー。配線を確認してください。**]と、音声警報を繰り返します。



◆**ドアホンでは、**警報表示灯が点滅します。(警報音は鳴りません)

対応 **ガス漏れ検知器がはずれていないか、電源プラグが抜けていないかを調べてください。**(原因が分からない時は、管理会社などへ連絡して、点検を依頼してください。)

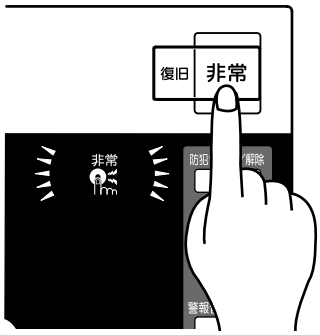
対応 **警報音を止めるには、警報音停止／復旧ボタンを押してください。**

ガス漏れ検知器の有効期限

ガス漏れ検知器は、有効期限として、その機能を維持する期間が定められています。期限が過ぎると正常に作動しない恐れがありますので、ガス漏れ検知器の説明書・保証書に記載された保証規定、期限をお確かめのうえ、期限が来る前に管理会社などへ依頼し、必ず交換してください。

非常・防犯警報時の対応

■緊急事態を外部に知らせる時（非常通報）



緊急事態を外部に通報する時は、**非常**押ボタンを押してください。
非常灯が点滅し、**[ピーポーピーポーピーポー]**の警報音に続き、**[緊急事態発生]**と、音声警報を繰り返します。

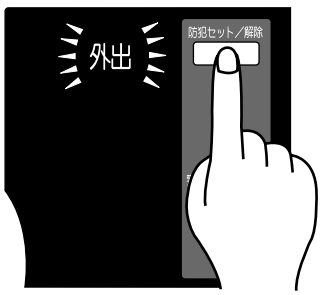
◆**ドアホンでは、**警報表示灯が点滅し、住宅情報盤と同じ警報・音声警報が鳴ります。

対応 **警報音を止めるには、警報音停止／復旧ボタンを押してください。**

対応 **警報を戻す（復旧する）には、非常押ボタンの復旧側を押してください。**
※増設の非常押ボタンを押した場合、その押ボタンを元に戻し、住宅情報盤の非常灯が消灯するのを確認してください。

■防犯のセットと解除

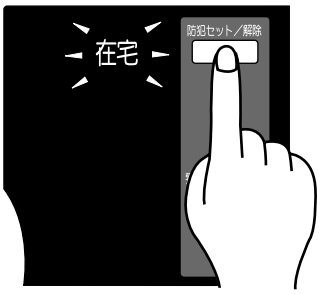
侵入などの被害を防ぐため、窓などに防犯センサーを設置する防犯には居住者が外出や帰宅した時に警報を出さないように、約60秒間の遅延時間を設けた**「外出」**モードと、就寝や在宅時に使用する**「在宅」**モードがあります。
いずれもご使用の場合は必要に応じ、セットおよび解除操作をしてください。



1.防犯のセット

（A）外出モードにセットする場合

●**防犯セット／解除**ボタンを押して、すぐに離してください。
◆**外出**灯が点滅し、**[ピーピーピー]**の警報音が約60秒続いた後、
◆**[警戒を開始します。]**の音声メッセージが流れ、**外出**灯が点灯に変わり、セット完了です。
※セット完了前にお部屋の外に出て、玄関を施錠してください。

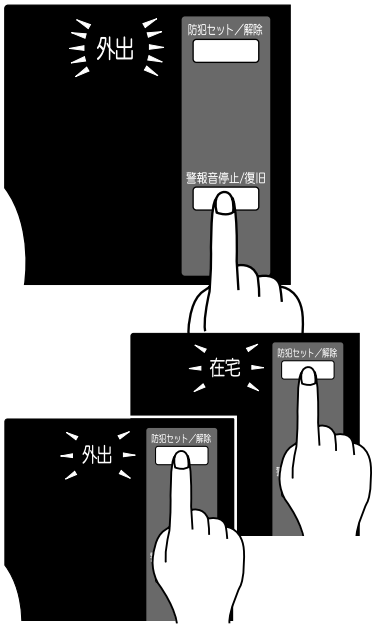


（B）在宅モードにセットする場合

●**防犯セット／解除**ボタンを約2秒間押してください。
◆**[警戒を開始します。]**の音声メッセージが流れ、**在宅**灯が点灯し、セット完了です。

注意 **警報セット時に窓などが開いていると、[ポン 戸締まりを確認してください。]とメッセージが流れ、セットができません。**

防犯警報時の対応



2.防犯セットの解除

外出灯が点滅し、[ピーピーピー]の警報音が鳴っている状態では・・・・・・・・・・

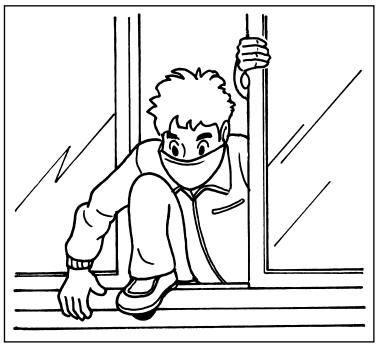
●**警報音停止／復旧**ボタンを押し、警報音を止めてから**防犯セット／解除**ボタンを約2秒間押してください。

◆**外出**灯が消灯し、セットが解除されます。

外出灯または、在宅灯が点灯している状態では・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

●**防犯セット／解除**ボタンを約2秒間押してください。

◆**[解除しました。]**のメッセージが流れ、**外出**灯または**在宅**灯が消灯し、セットが解除されます。

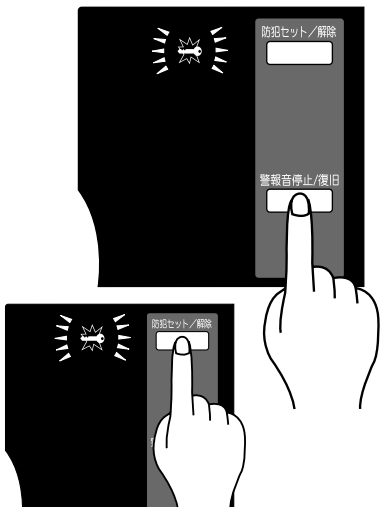


■防犯警報時

在宅および外出、いずれのモードでも防犯センサーが作動すると、**防犯**灯が点滅し、**[ピーポーピーポーピーポー]**の警報音に続き、**[防犯装置が作動しました。]**と、音声警報を繰り返します。

◆**ドアホンでは**、約30秒後に警報表示灯が点滅し、住宅情報盤と同じ警報・音声警報が鳴ります。

注意 **外出モード時は、約60秒間の遅延時間を設けてあるため、防犯センサーが作動すると、[ピーピーピー]の警報音と外出灯の点滅が約60秒続いた後、防犯警報になります。**



対応 **防犯センサーが作動した原因を確認し、適切な処置をとってください。**

対応 **警報音を止めるには警報音停止／復旧ボタンを押してください。**

対応 **防犯警報を解除する場合、警報音停止／復旧ボタンを押し、警報音を止めてから防犯セット／解除ボタンを約2秒間押してください。**

換気警報時の対応（不完全燃焼警報機能付の検知器の場合）

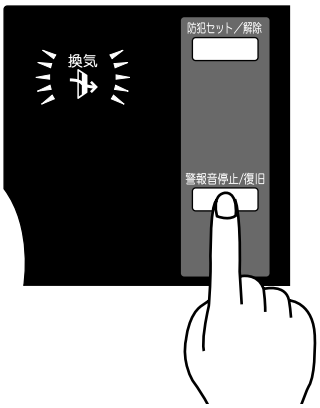
■室内の換気をうながす換気警報

不完全燃焼などで室内の一酸化炭素（CO）濃度が高くなり、ガス漏れ検知器が作動すると、**換気**灯が点滅し、**[ピーピーピー]**の警報音に続き、**[換気してください。]**と、音声警報を繰り返します。

◆**ドアホンでは、**警報・表示はしません。
※設備の仕様により約5分後に警報表示灯が点滅するものもあります。
（警報音は鳴りません）

対応 **窓を開けるなどして、新鮮な空気と入れ替えてください。**（換気されてCOがなくなると**換気**灯は消灯し、警報音も止まります。）

対応 **警報音を止めるには、警報音停止／復旧ボタンを押してください。**



日常点検のお願い

■日常点検のお願い

皆さまの住戸内には、消防用自動火災報知設備として、共同住宅用住宅情報盤と火災感知器などが設置されています。（建物によってはスプリンクラー設備が設置されている場合もあります。）これらは自動的に火災を感知して、報知するための設備です。万一の火災に備え、常に正常に作動するよう、住戸内の設備についての日常の点検をお願いいたします。

●**住宅情報盤の電源が切れていないか？**電源灯の点灯（緑色）を確認してください。

●**住宅情報盤や火災感知器が変形、損傷、脱落、著しい腐食などしていないか？**

日常の点検でこのような異常があった場合は、すみやかに管理会社などに連絡してください。

■火災警報機能の定期点検について

住宅情報盤が、共同住宅用自動火災報知設備として設置されている場合、火災警報機能については法律に定められた6ヶ月ごとの定期点検が必要です。保守点検には専門的知識と技術を必要とするため、管理会社と契約を結んだ施工店などの消防設備士などの資格を持った人が行います。

■故障かな？と思った時は・・・

●正常な呼び出し、通話ができない時は管理会社もしくは能美防災株式会社最寄りのお問い合わせ先へご連絡ください。

■日常のお手入れについて

●住宅情報盤本体の汚れは、乾いたやわらかい布で軽く拭いてください。汚れが落ちにくい時は、水で薄めた中性洗剤をやわらかい布にひたし、よくしぼってから拭いてください。その際、本機に水などがかからないようご注意ください。

●ベンジン、シンナーなどの薬品は、機器の表面を傷めたり変色の原因となりますので使用しないでください。

●お手入れの後に受話器が確実にフックにかかっていること、また、カールコードが不自然にねじれていないことを確認してください。

警告 **機器を分解・改造しないでください。感電・故障・発火の原因となります。**

■安全上のご注意

お取り付けの前にこの「工事説明書」をよくお読みのうえ、正しい設置・配線をしていただき、あなたや他の人々への危害や財産の損害を未然に防止願います。

●危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取扱いをした時に想定される内容を、「危険」「警告」「注意」の3つに区分しています。

「危険」：取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うかまたは機器の機能に致命的な悪影響を及ぼすことが想定される内容。

「警告」：取扱いを誤った場合、使用者が重傷や傷害を負うかまたは機器の機能の一部に重大な悪影響を及ぼす可能性が想定される内容。

「注意」：取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うかまたは機器の機能に悪影響を及ぼす可能性が想定される内容。

絵表示の見方

左の記号は、危険・警告・注意を促す内容があることを告げるものです。

左の記号は、禁止の行為を告げるものです。

左の記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。

⚠警 告

電源の配線工事は、「電気工事士」の資格のある方が行ってください。
資格のない方の工事は、感電・故障・発火の原因となります。

消防法で義務付けられた部分に設置する場合は、消防設備士甲種第4類の資格が必要です。

各端子への配線は、所定の定格容量、極性に従い正しく配線してください。
誤った場合、故障・発火の原因となります。

機器を分解・改造しないでください。感電・故障・発火の原因となります。

⚠注 意

電源接続前に本システム機器の定格電圧を確認してください。定められた定格電圧以外では、故障・発火の原因となります。

携帯電話、無線を近くで使用すると誤動作の原因となることがあります。

⚠注 意

次の場所への設置および使用は避けてください。感電・故障・発火の原因となります。

- ●直射日光の当たる場所
- ●暖房機器などの近くで、温度が上昇するところ
- ●常時ほこりや腐食性ガスが発生するところ
- ●湿度が高いところ

機器を設置する時は、その重量に十分耐えるように、強固に取り付けてください。安易な取り付けは脱落などにより怪我のもとになります。

充電部のカバーは、工事終了後かならず取り付けてください。感電の恐れが生じます。

弱電流線の配線は低圧屋内配線（AC100V、200V）とは30cm以上離してください。ノイズや誤動作の原因となることがあります。

配線の被覆をむく時に、銅線にキズをつけないでください。
銅線が折れて差し込み端子から取れなくなることがあります。

配線被覆のむき長さは、指定通りにしてください。
接触不良や短絡事故の原因となることがあります。

■梱包箱内の付属部品など

梱包箱の中には次の付属部品が入っています。梱包箱を開けた際には、まず付属部品が揃っているか確認してください。

住宅情報盤本体……1	ヒューズ（0.5A）……2
取扱／工事説明書（本書）……1	火災感知器終端抵抗（4.7KΩ）……1
タグカード（本体に付いています）……1	Mネジ……4
機器保証書 ……1	防塵カバー……1
専用電源シール……1	

■工事するにあたって準備する工具など

住宅情報盤の取り付け、配線に必要な工具は次の通りです。

名　称	工具を使用する主な作業内容
普通ドライバー	本体の取り付け
ニッパー	配線の切断、ケーブル外皮むき
ストリッパー	ケーブルの芯線の被覆むき
カッター	ケーブルの外皮むき

住宅情報盤の取り付け方法

■埋込ボックスおよび住宅情報盤取付金具について

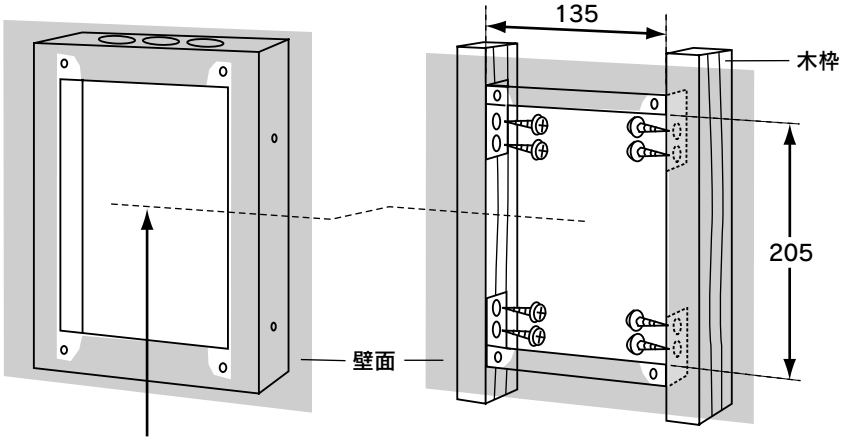
●埋込ボックスおよび住宅情報盤取付金具の場合は安全のため、必ず木枠を組んで取り付けてください。

●埋込ボックス使用時はZBC-9型、住宅情報盤取付金具使用時はHZT-1型を使用してください。

●埋込ボックス使用時は、AC100V線用の入線口を左端に、弱電流線用の入線口をその他の場所に開けてください。

■埋込ボックス（ZBC-9）壁面開口寸法：
縦207mm×横132mm

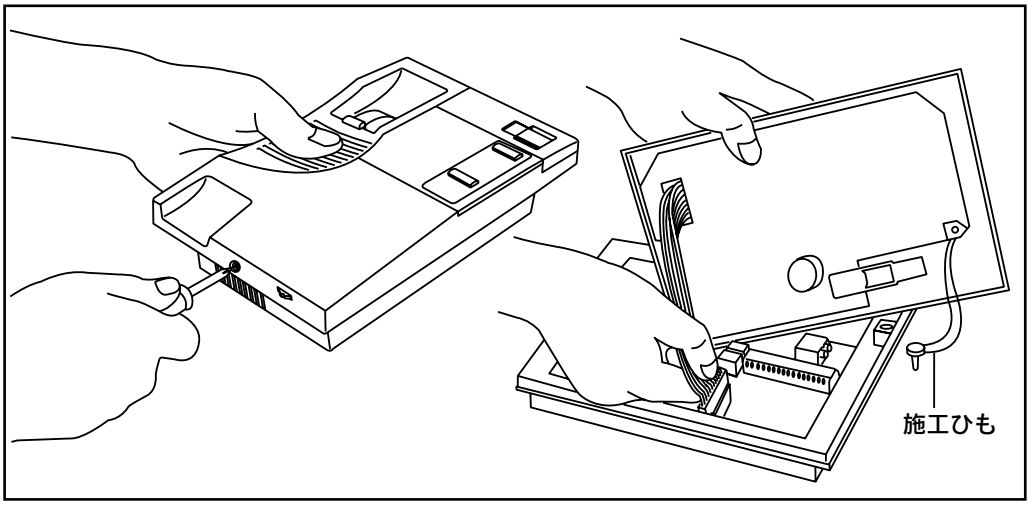
■住宅情報盤取付金具（HZT-1）壁面開口寸法：
縦205mm×横135mm



■埋込ボックスまたは住宅情報盤取付金具開口部のセンターは、床より1000mm以上1400mm以下

■住宅情報盤の取り付け方法

1 住宅情報盤（HAPG355A型）の取り付けは、壁面・埋込型です。取り付ける前に、まず本体のカバーをはずしてください。



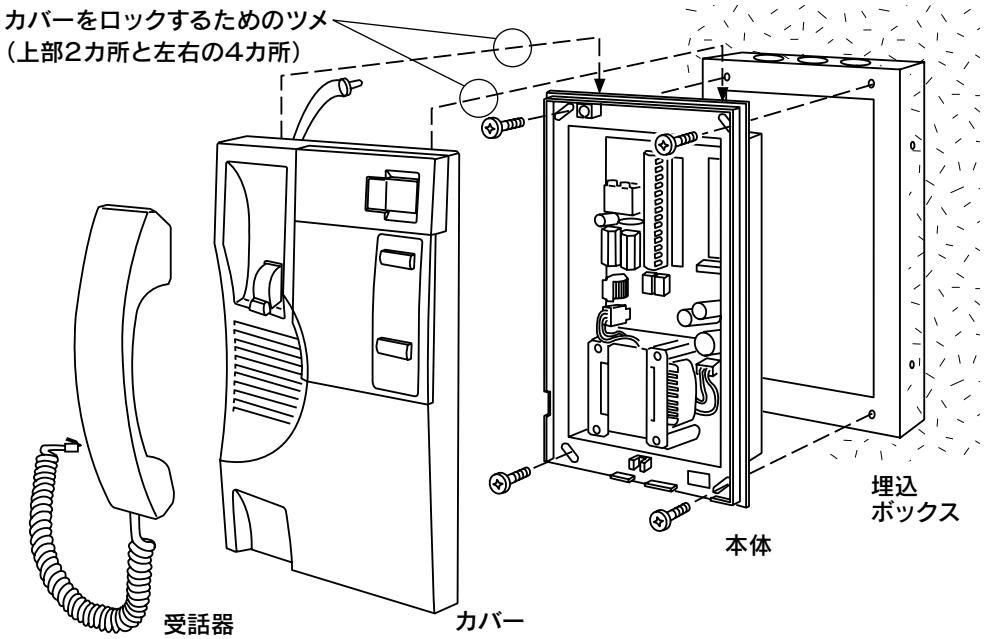
●住宅情報盤の底部にあるネジをドライバーでゆるめます。

●カバー下面を少し持ち上げて上部にスライドさせて、本体からはずします。

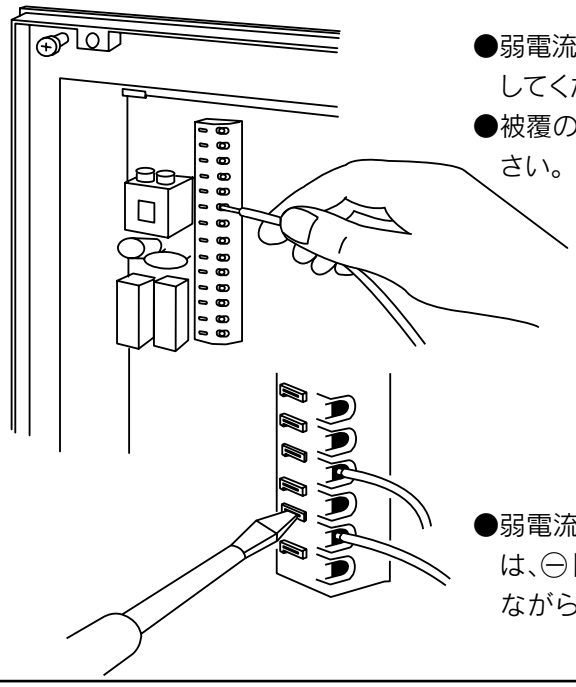
●施工ひも、コネクターをはずし、本体とカバーを分離します。

住宅情報盤の取り付け方法

2 本体を付属のネジで、埋込ボックス（または住宅情報盤取付金具）に取り付けます。

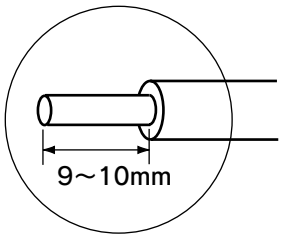


3 弱電流線を各ターミナル端子に差し込み、接続します。



●弱電流線はφ0.65～φ1.2の単芯を使用してください。

●被覆のむき長さは、9～10mmとしてください。

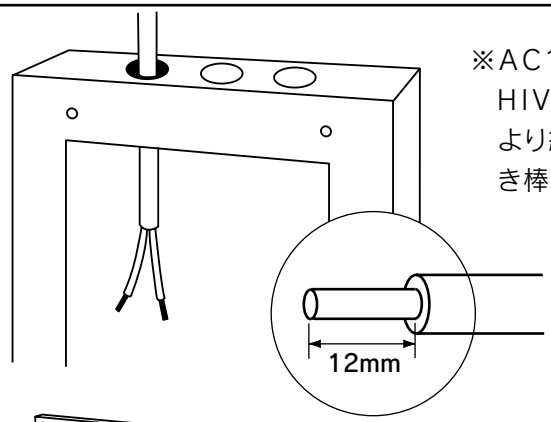


●弱電流線をターミナル端子から抜く場合は、⊖ドライバーで「解除ボタン」を押しながら線を引き抜きます。

住宅情報盤の取り付け方法

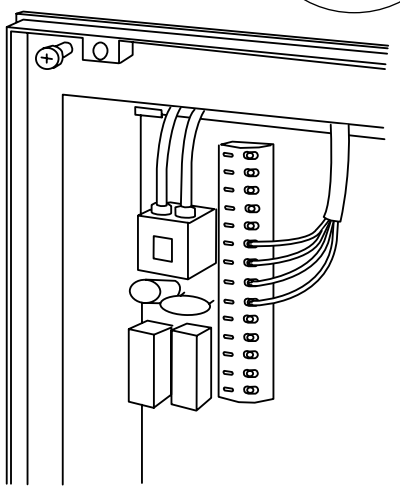
4 AC100V線を電源端子に差し込み、接続します。

●AC100V線を下図のように左端の入線口より引き込んでください。

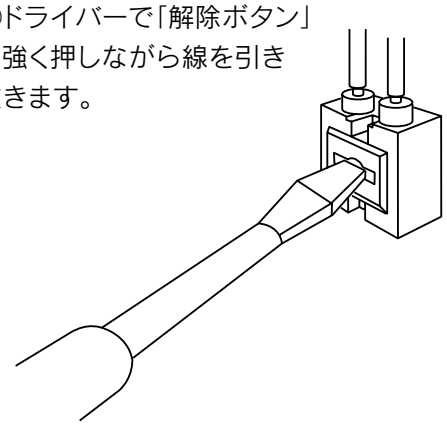


※AC100V線はFP-Cケーブルまたは HIV電線のφ1.6を使用してください。より線を使用する場合は、絶縁被覆付き棒型圧着端子を使用してください。

●AC100V線の被覆を12mmむき、電源端子に強く差し込み、接続します。



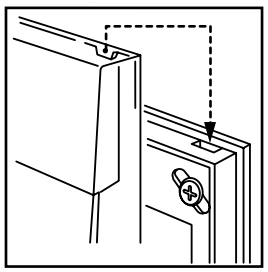
●AC100V線を電源端子から抜く場合は、㊀ドライバーで「解除ボタン」を強く押しながら線を引き抜きます。



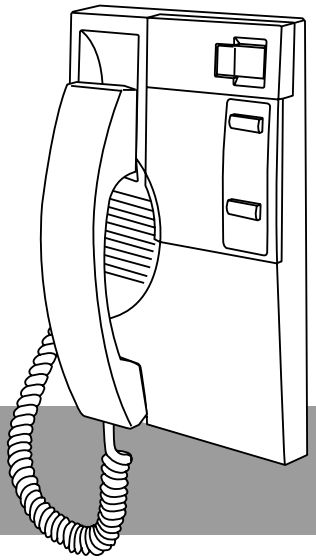
5 本体にカバーを取り付けます。

●各線の接続後、カバーを取り付けるため、コネクターを元の通りに接続し、施工ひもを本体に取り付けます。

●カバーを本体にかぶせ、上部のロック(2カ所のツメ)がかみ合ったことを確認してから、下面を本体に押しつけ、底面のネジを締めて止めます。

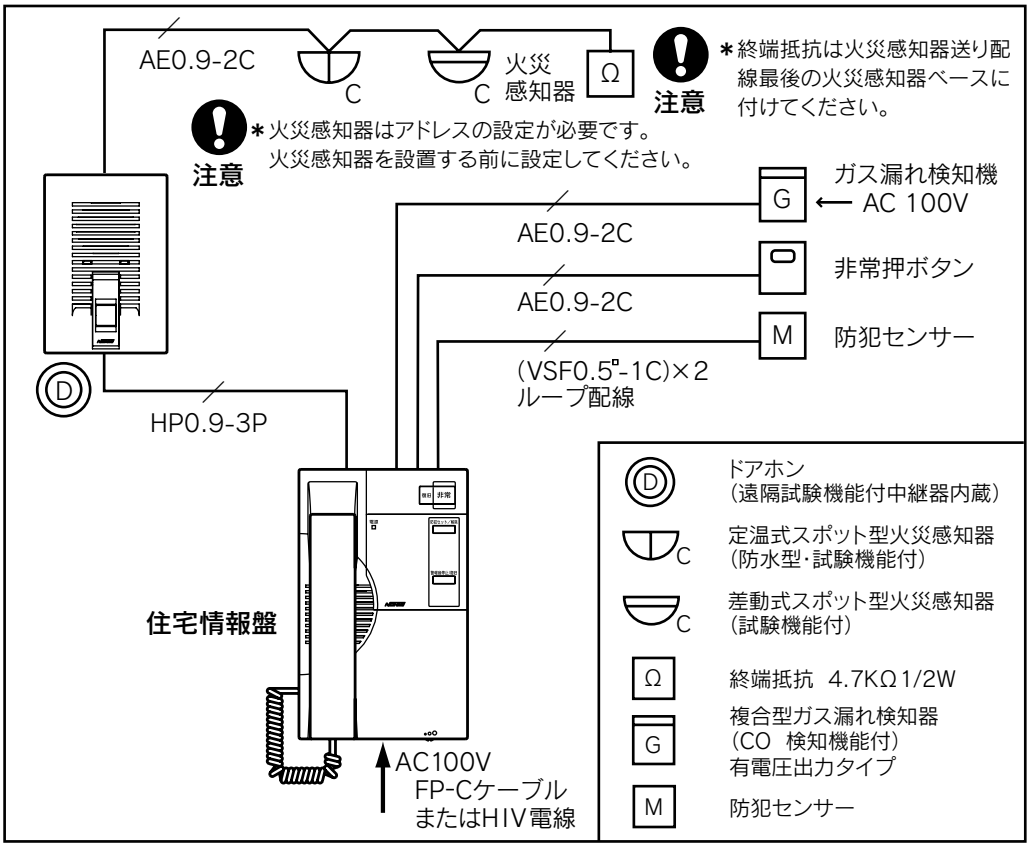


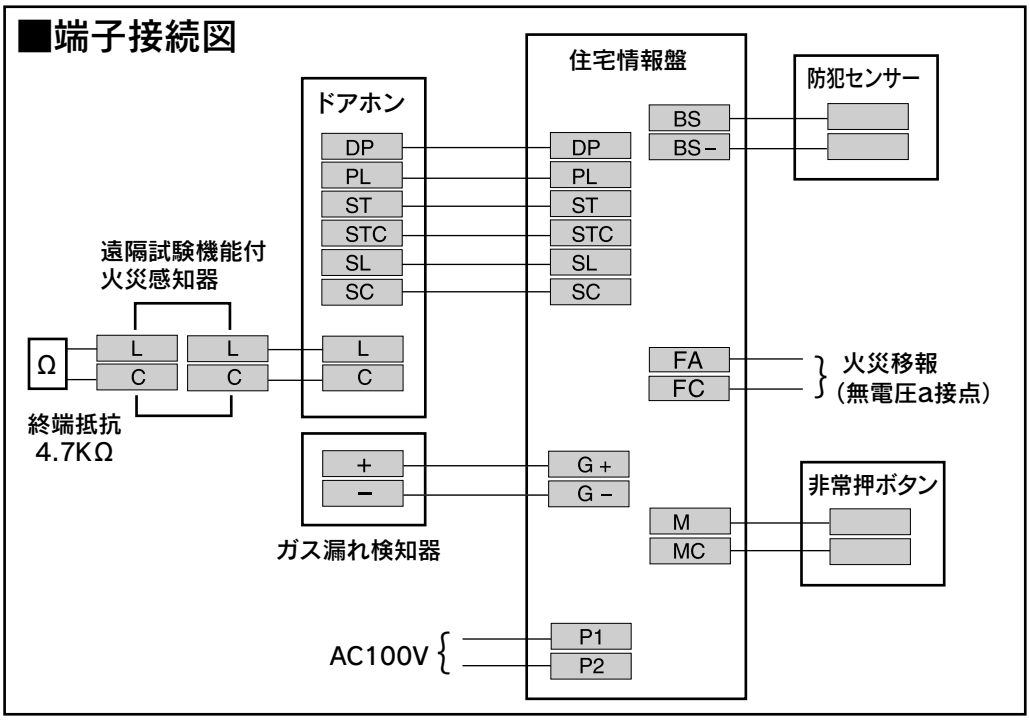
●受話器のコネクターを本体に接続し、受話器を本体に掛けます。



住宅情報盤の接続方法

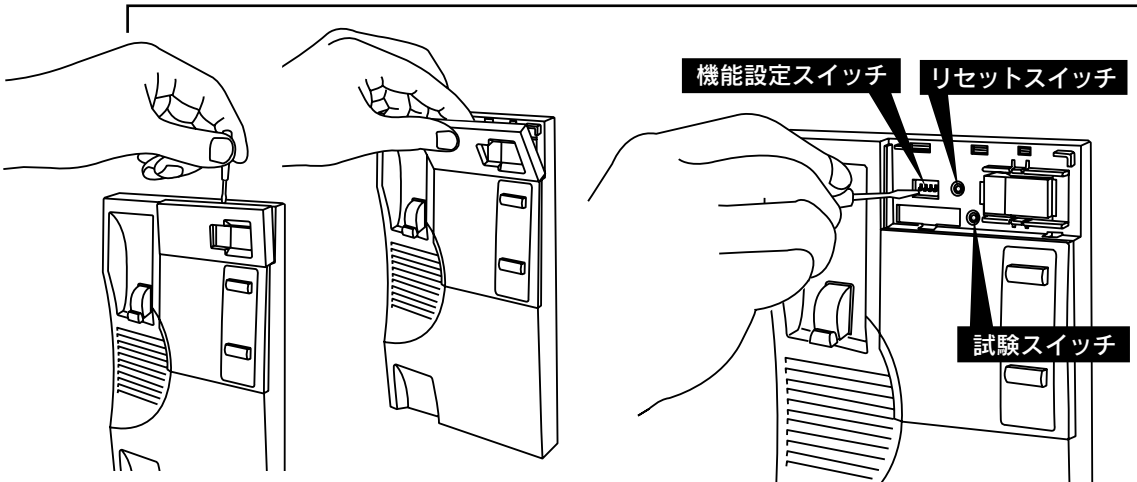
住宅情報盤（HAPG355A型）に接続する機器は下図の通りです。配線の種類、配線数に注意してください。また、各端子への接続は極性や終端抵抗の処理などに注意してください。





機能の設定方法

住宅情報盤には、住宅の設備・運用に応じた機能を確保するため、次のような機能の切替えが出来るようになっています。
住宅情報盤の「上部カバー」を開けて、各スイッチでこれらの設定を行ってください。



●上図の位置に専用ドライバーなどの先の細いものを差し込み、手前に引いて開けてください。

1機能設定

住宅の設備・運用に合わせた機能をディップスイッチで設定します。スイッチは専用ドライバーなどの先の細いもので動かしてください。

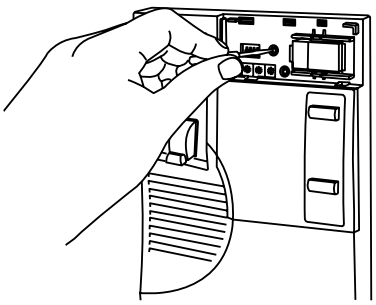
（初期設定）

SW No.	内容	ON	OFF
1	ドアホンからの呼出音回数	4	2
2	換気警報のドアホンへの表示	有り	無し
3	換気警報の有無	有り	無し
4	ガス漏れ検知器の有無	無し	有り

※ドアホンからの呼出音回数は、住宅情報盤が呼出しを受けた時の「ピンポーン」の数となります。

2リセット

各機能を設定した後は、リセットスイッチを必ず押してください。リセットしないと設定が変更されません。



設置後の確認方法

設置後は、住宅情報盤の「取扱説明書」、ドアホンの「工事説明書」をご覧いただき、次の各機能項目の確認を行ってください。

■インターホンに関連する機能

（1）ドアホンから呼ばれた時の通話

■セキュリティ機能

（1）火災が発生した時の動作
（2）火災感知器の遠隔試験を実施した時の動作
（3）ガスもれが発生した時の動作
（4）非常通報時の動作
（5）防犯センサー作動時の動作

【注意】火災に関する試験は、点検資格が必要です。点検資格者などが実施してください。
火災感知器の遠隔試験の方法は、外部試験器に添付された取扱説明書をご覧ください。
また、遠隔試験時はドアホンでは警報・表示し、住宅情報盤では警報・表示しません。

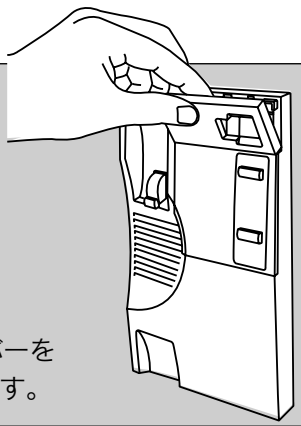
■故障時の機能

（1）火災感知器線が断線した時の動作
（2）ガス漏れ検知器線が断線した時の動作

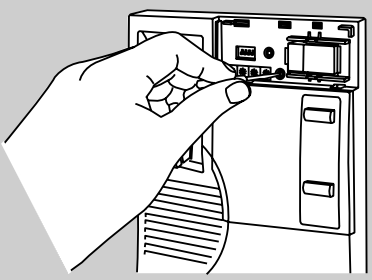
■住宅情報盤の試験スイッチによる動作

住宅情報盤には、火災、ガスもれ警報を試験する機能があります。次の手順により行ってください。

●火災・ガスもれ警報は、試験スイッチを離すと止まります。



1 上部カバーをはずします。



2 試験スイッチを押します。

3 火災灯が点滅し、火災警報音が鳴動します。

4 試験スイッチを押しつづけ、約40秒後にガスもれ灯が点滅し、ガスもれ警報音が鳴動します。

5 上部カバーを元に戻します。

仕様(住宅情報盤HAPG355A)

種別	GP型3級受信機　　住宅情報盤(住戸完結型)
型名	HAPG355A
回線数	火災:1　　ガスもれ:1
構造	埋込型
国検型式番号	受第10～64号
主電源	AC100V±10%、50／60Hz
回路電圧	[火災感知器]DC12V(定電圧電源) [インターホン]DC12V(定電圧電源) [IC回路]DC5V(定電圧電源)
消費電力	監視時:約5W　作動時:約13W
機器接続個数	火災感知器:　ドアホン(遠隔試験機能付中継器内蔵)経由　熱感知器16個または煙感知器10個 ガス漏れ検知器:　1台 ドアホン:　1台 その他:　非常押ボタン、防犯センサー(マグネットスイッチ) など
(蓄積／遅延)機能	火災感知器:　蓄積機能なし ガス漏れ検知器:　遅延機能あり(標準遅延時間:40秒)
主音響装置	スピーカーによる音声警報 (DC12V,57mA,70dB,スピーカー径φ57mm)
環境条件	使用温度範囲:0～40℃　使用湿度範囲20～85%(RH)
外部配線抵抗 または、配線距離	火災感知器:10Ω以下、150m以下 ガス漏れ検知器:10Ω以下、150m以下 ドアホン:50m以下
終端処理	火災感知器回線の末端には終端抵抗(4.7KΩ、1／2W)を接続
主材・色	難燃ABS樹脂・オフホワイト
寸法	幅150×高240×奥行57.5mm
質量	約1,250g
適合ボックス	ZBC-9

■アフターサービスについて

警告　機器を分解・改造しないでください。
感電・故障・発火の原因となります。

この製品には2年間の保証が付いています。故障と思われる場合は、取り付け工事をした施工店もしくは、下記のお問い合わせ先へご連絡ください。機器保証書の記載内容により、無償修理させていただきます。機器保証書は、大切に保管してください。

- ●お問い合わせ　**能美防災株式会社・CSサービスセンター　TEL:0120-102-408**
- ●技術的なお問い合わせ　**能美防災株式会社・技術部・管理1課　TEL:(03)3265-0232**
- ●能美防災株式会社最寄りのお問い合わせ先

[補修用性能部品について]

この製品の補修用性能部品(機能維持のために必要な部品)の最低保有期間は、生産中止後6年です。
この期間は経済産業省の指導によるものです。

修理を依頼される前に下記事項をご確認ください。

- ◆製品名(型名)・お買い上げ日(お取り付け日)
- ◆故障または異常の内容
- ◆ご住所・お名前・電話番号
- ◆訪問ご希望日

※使用中、故障や誤動作、またはこれらの不都合により通話利用の機会を逸した場合の損害補償については、申し受けかねますのでご了承ください。

NOHMI 能美防災株式会社

本　社／〒102-8277　東京都千代田区九段南4-7-3　TEL.(03)3265-0211　FAX.(03)3264-4948
支　社／北海道(011)746-6911　東　北(022)221-2695　新　潟(025)243-8121　丸の内(03)3213-1781
茨　城(029)225-2600　北関東(048)642-0147　千　葉(043)266-0303　西関東(0426)27-4930
横　浜(045)682-4700　長　野(026)227-5521　静　岡(054)247-3211　名古屋(052)915-2411
金　沢(076)252-6211　大　阪(06)6330-8661　京　都(075)231-0128　神　戸(078)334-3581
広　島(082)263-7334　岡　山(086)244-4222　九　州(092)712-1560　熊　本(096)360-1051
営業所／旭　川(0166)23-7823　帯　広(0155)25-4900　青　森(017)729-0532　盛　岡(019)645-0552
秋　田(018)862-5086　郡　山(024)933-5580　福　島(024)528-4195　上　越(0255)26-1886
羽　田(03)3747-6800　渋　谷(03)3461-1051　杉　並(03)3306-0451　城　東(03)3645-8300
城　北(03)5292-2137　五反田(03)3779-9737　土　浦(029)822-3851　宇都宮(028)637-4317
群　馬(027)328-1567　埼玉西(049)247-4640　メヌマ(048)588-2893　川　崎(044)233-5773
沼　津(055)923-9669　浜　松(053)473-3422　岐　阜(058)276-7761　三　重(059)226-9860
富　山(076)425-1496　福　井(0776)21-0056　高　松(087)862-6012　徳　島(088)625-4325
松　山(089)974-2823　北九州(093)551-2588　長　崎(095)845-0135　大　分(097)543-2778
宮　崎(0985)28-8792　鹿児島(099)253-8196　沖　縄(098)862-4297
工　場／三　鷹(0422)44-5141　メヌマ(048)588-1531